



世界が恋する
NAGANO WINE

報告資料 6

令和 5 年(2023 年) 3 月 24 日
産業労働部産業技術課日本酒・ワイン振興室
(室長) 相澤 光宏 (担当) 有坂 昌平
電 話 : 026-235-7126 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2942
F A X : 026-235-7197

信州ワインバレー構想 2.0 の策定について

ー 県内の状況変化 ー

	H25 時点 (※H25 以外のはかっこ書き)	最新値	前構想の目標値
ワイナリー数 (国税庁酒類製造免許新規取得者名簿より日本酒・ワイン振興室調べ)			
県全体	25 場 (H25.3)	71 場 (R5.1)	70 場
地域内訳	桔梗ヶ原 : 9 場、千曲川 : 10 場、 日本アルプス : 4 場、天竜川 2 場 (新たな産地)	桔梗ヶ原 : 16 場、千曲川 : 34 場、 日本アルプス : 12 場、天竜川 7 場 八ヶ岳西麓 : 2 場	
ワイン用ぶどう (農林水産省特産果樹生産動態等調査)			
栽培面積	191.7ha	343.2ha (R1)	370ha
生産量	5,073 t	6,789 t (R1)	
ワイン生産・出荷量 (国税庁統計)			
果実酒生産量	4,312kℓ	4,428kℓ (R3)	
うち日本ワイン	3,720kℓ (H28)	4,071kℓ (R2)	
果実酒出荷量	4,092kℓ	4,549kℓ (R3)	
うち日本ワイン	3,281kℓ (H28)	3,773kℓ (R2)	
ワイン特区	2 地域 (2 市村)	14 地域 (28 市町村(見込))	
NAC/GI 認定率	92.3%%	98.6% (R4)	
日本ワインコンクールにおける受賞状況 (公式サイトより日本酒・ワイン振興室調べ)			
金賞受賞数	3 点 (全国 24 点) (H28)	12 点 (全国 24 点) (R4)	
入賞数	3 点 (全国 283 点) (H28)	70 点 (全国 260 点) (R4)	

ー 現状認識と今後の展望 ー

- ・ワイン用ぶどう品種の需要の多様化
- ・移住や事業転換などからワイナリーを開設する動きが活発
- ・県外の人から、魅力あるワイン、テロワールのイメージが低い
- ・小規模ワイナリー単独ではなく、テロワールのまとまりによる活動が必要
- ・ワイナリーを訪れたい、ワインを愉しみたいというニーズに対応する体制が必要
- ・ワインのある風景を維持していく連携が必要

ー 策定の基本的考え方 ー

推進機関

信州ワインバレー構想推進協議会

※ ワイン産地のぶどう生産農家やワイナリー、市町村、商工・観光・交通などに係る産業機関、学術機関、県の産学官協働で構成する団体

構想期間

令和 5 年度(2023 年度)～令和 14 年度(2032 年度)

進捗管理

毎年度、信州ワインバレー構想推進協議会で成果と課題を把握し、構想 5 年度目に情勢に合わせて見直しをする

10年後の数値目標(KPI)

項目	目標値	現状
ワイナリー数	100 場	71 場 (R5. 3)
G I 認定ワインを保有するワイナリー数	50 場	28 場 (R5. 2)
「NAGANO WINE 認定店」数	500 店	(制度を構築)
ワインイベントへの参加者数	38,000 人	27,037 人 (R1)
ワイナリーへの誘客人数	360,000 人	255,112 人 (R1)

— めざす姿 —

美しい風土の中で
高品質なワインと香り高い文化を育む
信州ワインバレー
— 世界が恋する、NAGANO WINE —

信州が誇る名峰の山麓に広がる丘陵地。日照時間が長く、昼夜の寒暖差が大きい最適の気候に恵まれたその土地では、良質なワインぶどうが育てられ、そのポテンシャルを十分に引き出した上質なワインが醸される。

ワインは、その土地の価値を表現するアートである。

ワインと農業に魅せられた人びとが信州に集い、あふれる自然に囲まれた田園で、それぞれの風土の美質を表現するために人生を捧げている。その持続的な営みは美しい景観と多様な物語を生み出し、地域と世代を超えたつながりが人の輪を広げて、ワインのある食卓を求めて多くの人から訪れる。

ワインによる絆は豊かな暮らしの文化を育み、幅広い裾野をもつワイン産業の発展は、観光や飲食をはじめとするさまざまな分野で地域経済を活性化する。

NAGANO WINE を世界で評価される高みに位置づけ、ワインバレーに香り高い文化の花を咲かせて、信州の魅力を世界に発信すること。

それが「信州ワインバレー構想 2.0」の目指す姿です。

— アクションプラン —

I ワイン産地の 形成と確立	<ol style="list-style-type: none"> 産地力の強化 新規参入支援、ぶどう栽培、ワイナリー経営、事業承継、事業連携、環境対策等の推進 <u>地理的表示(GI)による産地の確立</u> NACからGIへの移行、GI長野の役割・活用により、美味しく、高品質なワインを提供
II ワイン文化の 醸成	<ol style="list-style-type: none"> 知名度向上とファンづくり イベントの開催、SNS、メディア、県外拠点活用した魅力発信 プロモーションと消費拡大 商談会、取扱店の拡大、BYO、食事の提案
III ワインをテーマとした観光 地域づくりの 推進	<ol style="list-style-type: none"> <u>観光地域づくりの基盤と確立</u> ワインをテーマにした観光を実施する地域づくり <u>ワインゴーランドと酒類ツーリズム</u> 地域資源と結びつけたワインの周遊ツアーを各地で開催 <u>地域交通と二次交通</u> あらたな交通需要に対応した展開
IV 地域ワインバ レーの活動整 備	<ol style="list-style-type: none"> <u>インタープリターの育成</u> 自ら地域の魅力を伝える人材の育成 <u>産業の枠を超えたネットワーク</u> 地域を豊かにする投資行動の誘発 <u>地域を跨いだネットワークの形成</u> NAGANO WINE の地位確立